

### 3 エアー・キャッチボール

効果：カメラ機能に慣れる・名前を呼べる関係性をつくる・体を動かす

時間：5分

準備：特になし

人数：5～20人程度

教えてくれた人：いつも元気で学びパワーにあふれる「よこひい」さん

野球の基本はキャッチボールです。相手に向かって声をかけて、ボールを投げる。相手からのボールをきちんと受け取る。1対1の基本的な「やりとり」ができるからこそ、チームプレーができるわけです。

このアイスブレイクは、「名前を呼んで、ボールを投げる」というシンプルなものですが、アイスブレイク効果の高いものです。カメラのON・OFFを使いこなすことにもつながるので一石二鳥です。

- ①「みなさん、ウォーミングアップに、キャッチボールでもしましょうか。野球選手も試合の前には必ずキャッチボールしますよね。と言っても、本物のボールを投げるわけにはいけないので、エアー・キャッチボールです。ここにボールがあると思って、投げたり、受け取ったりして遊びましょう」と始める。
- ②「まずは私からボールを投げてみますね。Aさん、ちょっと協力してもらっていいですか？ ボールをこうやって画面に向かって投げますので、キャッチしてください。Aさん、マイクのミュートを解除して、声を出せるようにしてください」とお願いする。
- ③「はい、受け取りますよ」とAさんから声が返ってきたのを確認して「えい！」と投げる。「おー、Aさん、上手にキャッチして下さって、ありがとうございます。次はどなたかの名前を呼んで、その方にボールを回してもらえますか？」と伝える。

- ④すると「じゃあ、Bさん、いきますよー」と言って投げる。Cさん、Dさんと、何人が回ったところで「一度ボールを受け取った人は、カメラをOFFにしてあげましょうか。左下の『ビデオの停止』のボタンを押すとカメラがOFFになります。そうすると、大人数を画面に映せないスマホやタブレットの人にも、〈まだボールをもらってないのは、この人か〉と見つけやすくなりますよ」とお願いをする。



- ⑤全員回るまでやって、「全員にボールが回ったようですので、『ビデオの再開』のボタンを押してカメラをONにし、戻ってきてください。今日もお互いに声を出して、いいチームワークでいきましょう」などと伝え、本題に入っていく。

- \* ボールを投げる相手のマイクのミュートが解除されたのを確認してから投げるようにしましょう。
- \* 慣れてきたら「ボールを速く投げてみて」とか「重いボールにしてみよう」などと、遊んでみてもおもしろいです。
- \* このアイスブレイクを教えてくれたよこびいさんは、最後に「みんなに私から一齐にボールを投げるよ」と言って、たくさんのボールを派手に投げるふりをし、そのあと「みんなから、私に一齐に投げ返してきてー」と言ってほこほこにボールに当たるとい遊びを展開して、とっても楽しかったです。
- \* エア-キャッチボールで、心のキャッチボールもできるし、お互いの名前を呼べるのもいいですね。